

2022 年度 2 学期期末試験 アメリカ政治 II (担当：庄司) <オンライン 48 時間>

試験期間：2023 年 1 月 26 日 (木) 13:00~1 月 28 日 (土) 13:00

解答提出方法：WebClass のみ (E メール添付不可)

解答用紙の形式：Word のみ (PDF は不可)

【注意事項】解答用紙には、本文冒頭に必ず学科、学年、学籍番号、氏名を明記すること。

問題

以下から 3 問 を選び、それぞれ 1000~2000 字以内で解答せよ。(字数をカウントし、各問末尾に記載すること。) 解答の冒頭に必ず問題番号を書くこと。授業内容を前提とするが、解答が授業資料の羅列にならないよう留意し、できる限り多くの重要な論点を取り上げて具体的に論じ、自ら考察すること。解答にあたり、授業資料や教科書を参照するほか、内外の新聞などを活用しても差し支えない。ただし、参考文献やリンクを解答に入れないこと。論理的な一貫性、文章の完成度も評価する。解答作成は必ず受験者本人のみで行うこと。他者と共同作業をしたり、他者の答案を参考にしたりすることを禁じる。

1. 21 世紀により顕著になったメディアの特徴と、それがアメリカ政治にもたらした影響について、授業で紹介した基本的事項を参照しながら、2008 年以降現在までを対象として、具体例も交えてその功罪を論じなさい。
2. 世論調査を用いた選挙予測について、授業で紹介した基本的事項を参照しながら、2016 年大統領選挙と 2022 年中間選挙を題材に、その精度や課題について論じなさい。
3. もし現代のアメリカで、日本で広く使われている自著式投票用紙を導入したら、どのような問題が生じうるか、授業で説明したアメリカにおける投票用紙発達史も参照しながら、投票権、格差、差別、党派的影響、選挙事務、その他の角度から、多角的に論じなさい。
4. 比例代表制が用いられず小選挙区制を軸とする選挙制度のもとでは、女性の政治進出にどのような困難があるか、それを克服するために実践されている有効な対策には何があるか、授業で紹介した論点をできるだけ多く参照しながら、アメリカの近年の状況を論評しなさい。
5. アメリカの大統領選挙人団制度が抱える課題と対策について、授業で説明した特徴を概観しながら、2016 年と 2020 年の選挙で実際どのようなことが起きたかを題材として、できるだけ具体的・多角的に論じなさい。
6. 「アメリカには 4 つの (主要) 政党がある」と言われる現在の状況について、授業で説明した政党史や政治文化の重要なポイントを参照しながら、2016 年大統領選挙と、2023 年 1 月に行われた第 118 連邦議会下院議長選出を題材として論評しなさい。

以上